

第6回北九州市外郭団体評価会議議事要旨

日 時 平成29年7月7日（金） 10:00～11:30

場 所 北九州市役所本庁舎3階 特別会議室B

出席者【構成員】明石座長、福地氏、笠目氏、菊池氏

【(公財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)のあり方】

(総務局)女性の輝く社会推進室長、男女共同参画推進課長

【(公財)北九州国際交流協会(KIA)のあり方】

(企画調整局)国際部長、国際政策課長

内 容

1 KFAW のあり方について

○団体の名称そのものが今後の方向とあわなくなっているのではないか。

また、男女共同参画という問題も、社会的にも一般化してきている。社会性が非常に強くあらゆるところに関係するため、横串を通すような形の組織で情報収集をし、どこに問題があり、どう解決していけばよいかを効果的にやっていくような形にしていったほうがよいのではないか。

○社会で女性問題が浮かんできたのは20～30年前のことで、今はLGBT（性的少数者）の問題が出てきている。男女共同参画だけに特化するのではなく、そういった新しい問題も取り組んだほうがよいのではないか。

また、そのような新しい問題の拡がりに、条例が時代遅れになっているのではないか。

○男女共同参画センター（大手町ビル）の施設管理について、他の団体に任せただほうがよいのではないか。フォーラムがビルを拠点として使うのは構わないが、もっと全体の有効活用を検討したほうがよい。稼働率が5、6割くらいであれば、北九州市立大学のサテライトキャンパスのような方向に持っていったらどうか。

○市民の声を反映させるなどして、男女共同参画事業のあるべき姿、ビジョンを検討してみてもよいのではないか。

2 KIA のあり方について

○アジア女性交流・研究フォーラムが社会一般に関する問題点を扱っているところで、国際交流協会は定住外国人をターゲットとし、支援している。ただ「国際」という言葉だけで括るのは無理があるのではないかと思う。

○北九州市は将来、人口70万人になるという推定が出ている。今までどおり維持していくというのではなく、70万人ということを見据えて、サービスの規模は2～3割減らしていけないといけないのではないか。

最初から国際交流協会ですべて支援するというのではなく、例えば留学生であれば、大学で留学生だけでなくその家族も含めたオリエンテーションの協力を求めるなど、協会

の支援業務を分散させることが必要ではないか。

○定住外国人の支援については、予算がどれだけ掛けられるかという問題はあるが、外国人が日本に住むというのは大変な面もある。弱者支援ということで、そこを支援する団体が自治体の中にあっという間という話。

(大学は留学生の家族の支援までは難しいことから、国際交流協会が行うという話があったが、) 留学生については、極端に言うと、大学のほうで留学生を抱え込むのではなくて、逆に、交流協会のほうが大学の窓口の留学部のところに人を派遣して、その分経費もらうというほうがいいのかもわからない。

3 まとめ

○政令指定都市が 20 あって、その間でも、明らかに人口の集中するところ、例えば、横浜、名古屋、大阪、九州で言うと福岡と、それ以外とではっきり格差が見えている。そういう中で、今までの 100 万都市のスケール感で仕事をしてきたのでは、大変なことになる。むしろ、所管課の話というよりは、市全体の総合政策の中でどう考えていくかという、そういう非常にシビアな問題であると思う。そういう中で、団体の見直しであるとか、どこまで市が関与していくのかという、最後はその話になる。

ここ 10 年くらい先のことをしっかり見据えて、市全体の政策の中で、非常に限られた行政資源を、どう配分していくのか、そこが非常に大事なポイントになる。その辺りを十分踏まえた上で、各団体との統廃合の話も含めて、考えていかないといけない。

○それぞれの団体が与えられたミッションに基づいて適正に運営していると思うが、横との連携や他の団体との協働を考えると、もう少し上のところで、横串を通してコントロールしていくこと。各組織の改革に個別に盛り込むというより、もっと大きなところでの計画の練り直しのところに、市の問題や課題、認識というのをうまく総括して方針、方向性を示せば、各部門も改革をされていくのではないかと思う。その部分が必要ではないか。

○今日の議論の中で、交流協会とフォーラムは、趣旨・目的が違うので本来統合すべき団体ではないという意見や、個別の団体の話よりは、市全体の政策の中で選択と集中を、また財政的に厳しいことが予想される中で、政策的なめりはりのついた予算配分をしていくべきで、そういった観点に立った上で外郭団体の再編という話にもつながってくるという意見があった。今日の議論を踏まえて今回検証した 2 団体のあり方の検討をすすめてはどうか。